

マレーシア日本国際工科院 (MJIT)
2015 年度日本人教員派遣に係る派遣教員候補選考プロセス
(案)

1. 今後のステップ

(1) MJIT からの 2015 年度日本人教員要請分野について、2015 年 9 月の新学期開始に向け教員派遣選考・推薦を行うため、従来のコンソーシアム内での選考と並行して、コンソーシアム外からの候補者の選考を行う。

(2) コンソーシアム外からの候補者の選考は、「MJIT 派遣教員候補者選考要領（日本大学コンソーシアム外からの派遣教員用）」に基づいて実施することとなっているが、今回、コンソーシアム内外からの候補者の募集を同時並行で行い、かつ短期間のうちに審査・選考を行う必要があることを考慮して、従来のコンソーシアム内からの候補者の選出プロセスに基づき、同一プロセスによる選考を行うこととする。選考方法詳細は下記 2 のとおり。

(3) コンソーシアム外候補者の選考は、「JUC 会員大学のネットワークの利用【A】」、及び「求人情報システム (JREC-IN) 等の利用【B】」(注) の 2 つの方法による募集を前提とする。【A】において候補者が選考されることが望ましいが、【B】を活用することも選択肢とする。但し、【B】を活用するかどうかは、公募分野と共に選考スケジュール等、分野毎の事情を勘案の上、各小委員会にて議論の上、決定する。

(4) コンソーシアム外候補者の募集は、別添 1 の募集要項雛形を参考に、各小委員会あるいは JUC 会員大学が行う。JREC-IN 等を利用する場合、掲載手続きは JICA 人間開発部 高等教育プロジェクト連携支援事務局が支援する。

2. 選考方法

選考方法は別添 2 の通りとする。従来通り、「マレーシア日本国際工科院 (MJIT) 派遣教員候補選考要領（長期派遣（1 年以上）用）」に基づき、各小委員会の委員による選考を行うこととするが、MJIT 側のニーズを踏まえた円滑な人事を行うため、今回、各小委員会及び運営管理委員会による選考プロセス（書類、面接審査を含む）に MJIT の教員（院長、日本人副院長、関連する学科の学科長又は代表教員（日本人教員を含む））を日程調整が可能な範囲でオブザーバーとして含め、その意見も参考としつつ選考することとする。

3. 選考スケジュール案

(1) **第一次選考（小委員会（及び MJIT）による書類選考）**：3 月上旬～中旬
各小委員会は、当該候補者の研究・教育実績（企業経験者は企業での関連実績を含む）、業務能力、応募条件等を書類審査し、第二次選考対象者を選出する。

(2) **第二次選考（小委員会（及び MJIT）による面接選考）**：3 月中旬～下旬

当該候補者の研究及び教育実績（企業経験者は企業での関連実績を含む。）、業務能力、MJITにおける教育研究体制との整合性等の観点から、上記（１）で選出された候補者を面接審査し、最終候補を選出する。

（３） 運営管理委員会：３月下旬

上記（２）の結果について、各小委員会による選考の結果を踏まえ、運営管理委員会において候補者の優先順位付けの確認、及び承認を行う。

（４） コンソーシアム会合：３月下旬

上記（３）の結果について、第 14 回コンソーシアム会合において審議する。

（了）

(注)「MJIT 派遣教員候補者選考要領（日本大学コンソーシアム外からの派遣教員（「JUC 外候補者」と略す）用）」の概要（第 10 回運営管理委員会での討議内容を含む）

プロセス	【A】 JUC 会員大学のネットワークを利用	【B】 求人情報システム（JREC-IN）等を利用
① 推薦方法及び ② 選考方法	① JUC 会員大学が JUC 外候補者を推薦（人事スケジュールに整合する事を前提に、会員大学の多様なネットワークを利用）。 ② 選考要項、3（9）参照	① MJIT 副院長名義で大学教員・研究者向け求人情報システムに公募。 ② 選考要項、3（9）参照
派遣方法	・派遣元組織からの出向 又は ・MJIT との直接契約	・MJIT との直接契約
身分保障	・派遣元組織による継続雇用及び/又は ・MJIT 所属	・MJIT 所属
待遇	・派遣元組織からの支給（MJIT から派遣元組織に必要な経費を支給。） 又は ・MJIT から給与等支給（社会保障費は自己負担。）	・MJIT から給与等支給（社会保障費は自己負担。）
MJIT における教員のサポート体制	・推薦したコンソーシアム大学及び小委員会が連携。 ・派遣元組織による協力が得られることが望ましい。	・関連小委員会との連携。
留意事項	・派遣元組織による保証がない限り、MJIT 任期满后・帰国後の就職保証はない。	